

公益信託世田谷まちづくりファンド

第26回助成事業 審査講評

まちづくり活動部門

【2回目応募グループ】

< 3-2 区の花「さぎ草」を愛する会 >

- ・「さぎ草」を中心に、歴史・文化・自然・環境・人をつなぎ、安定した活動として成長を続けてこられたみなさんが、この先を見据え、新しいチャレンジに取り組むよいタイミングだと思っています。既存の取り組みをさらにブラッシュアップさせながら、新しい一手にも挑戦してみてください。
- ・実績が重なり素晴らしい活動になってきています。今後は、さぎ草を地域の資源にどうしていくか？という応用が大事になっていきそうです。但馬のコウノトリが「コウノトリが繁殖できるほど有機的な農業環境がある」ことが地域や農産物のブランディングにつながったようにさぎ草が自生できるほど良い環境という一つの指標をつくっていくことや、苔玉などを商品化して親しみをつくっていくアプローチなどさまざまな展開ができそうです。今年の活動も期待しています。
- ・今回で3回目の助成となりますが、活動内容は徐々に発展してきている印象を受けました。審査会でもご説明がありましたが、ファンド助成最終年に瀬田四丁目広場（国分寺崖線）に鷺草を自生させるための具体的アクションを起こせるよう、今年度をその助走期間としてご活用いただけたら幸いです。

< 3-3 下北沢にて製作委員会 >

- ・当ファンドの過去の助成先をみても、貴グループほどの予算規模の活動はそうないのではないのでしょうか。その規模に比べて当ファンドの助成

額はささやかなのですが（笑）、それにもかかわらず、継続して応募をいただいていることに感謝します。

下北沢らしさがフルに引き出され、イベントの企画に魅力が凝縮されていますが、それは1年に渡る長い企画準備の積み重ねの賜物ですね。今回はとくに飲食店との連携に取り組むとのことですが、そうした地元の方とのネットワークづくりや企画力、集客力など、その経験やノウハウは、知りたい、学びたいと思っているグループが多々あるのではないのでしょうか。

下北沢と関わる助成グループがいくつもあり、すでに連携は始まっていると思いますが、イベントの当日の参加、あるいは企画準備の段階から、コラボレーションが生まれているのでしょうか。たとえば、常設の場所を持って活動するグループは日常的な窓口となることができますし、貴グループのようなイベント型の活動グループは抜群の集客力が強みです。互いに連携することによって、できることがとぐんと広がるのではないのでしょうか。今後に期待しています。

- ・日頃から皆様が地域活動に参加しているのは存じてます。ただ、この助成金は単なるイベントの補助ではありません。「にて」を開催するにあたって地域との連携、地元の子供たちへのワークショップ等が見えやすいモノにしてください。その部分がもっと分かり易くなれば良くなると思います。応援しています。
- ・様々なサブカルチャーが集まるまち下北沢で、音楽をテーマに大規模なイベントを展開され、それをすでに8年も継続実施し着実に参加規模を増やし続けてきたことに敬服しています。ポスターセッションでは、運営の大変さや、まちづくりの視点を大切にこのファンドに関わっていただいているというお話を伺うことができ、ありがたく感じています。この度の助成は予算規模に対して助成金額が小さい結果とはなっておりますが、助成団体（特に下北沢エリアの団体）との連携、ネットワークを広げる機会としていただくとともに、まちづくりとしての広がりや課題解決の部分を深めていただければ幸いです。

< 3 - 4 実家なんとかし隊 >

- ・勉強会の内容も充実してきましたね。他の団体とも連携し、いよいよ世田谷の定番イベントとして定着してきたいのではないのでしょうか？

実家という誰でも起こりうる問題だからこそ共感が広がったのだと思います。いよいよファンドの活用も今回に加えて、もう一回を残すのみとなりました。ぜひ、次のステップに向けて検討を着実に進められることを期待しています。

- ・ 着実に実績を重ねられ、賛同者を囲込む会員制度、協力団体を増やされてきたこと、謝金や会場費の削減努力などを大いに評価します。自律的な運営に向け頑張ってください。
- ・ 物であふれている実家を片付けたいという単純な動機から始まった活動が、高齢者を取り囲む様々な社会問題の発見と、解決法の模索と提示という大きな活動に広がっている貴会の活動はファンド助成団体の理想的な姿とも思えます。ただあまり活動を拡げてしまうとメンバーの負担が大きくなりますので、他団体や専門家との連携を深めていってください。

< 3-5 ひよっこり兵庫島 >

- ・ 当事者として活動を楽しみながら、参加される方やつながりのある方たちのニーズも把握し、組織として着実に成長されている様子を頼もしく拝見しています。今年度の活動は、事業を次の段階にステップアップさせる大きな意味があると思います。飛躍につながる1年とできるよう、新たなチャレンジに取り組んでください。
- ・ ニーズもあり、多様なスキルを持った人の集まった力強いチームでもあり、たいへん頼もしく思います。環境系の活動は季節に影響を受けますが、逆にメリハリある運営をすることで、さらにステークホルダーを多様にしていけるのではないかと思います。今年も活動の発展を期待しています。
- ・ 地域の団体とのネットワークも図るなど積極的に活動されており、今後に向けて、活動費の確保に努め、またコスト縮減などで継続して取り組んでいただきたい。

＜ 3－6 みんなのリーダーハウス計画実行委員会＞

- ・本来、公園内の施設に対して整備するのは行政と思いますが民間主導で計画を進める貴団体の活動を応援したいと思いました。寄付等を今後集めなければならないと思いますが世田谷の先進事例としてだけではなく、全国のモデルケースとなるように頑張ってください。期待しています。
- ・区民が自ら資金を集め、手や頭を使って計画をつくるというのは、市民主体のまちづくりの理想の姿であると思います。まして、世田谷のまちづくりの聖地とも言える 40 年の歴史を持つ羽根木プレーパークのリーダーハウスの建て替えとなると、市民活動のレガシーを引き継ぐとても気の引き締まる思いがあられるのではないかと思います。
プレゼンテーションで拝見した素晴らしいポスターや、みんなでプレゼンするスタイルなど、古きを引き継いで、今のよりよいものにつないでいくお手本のように思えました。この姿勢を広く発信しながら続けていただければ幸いです。
- ・羽根木プレーパークは世田谷の市民まちづくりの生きた伝説であり、リーダーハウス再建の取り組みはその第二幕の幕開けを期待させてくれるものです。今回のファンドの助成金額は設計や建設にかかる費用からみれば微々たるものですが、沢山の賛同者と志金を集めるために有効活用していただければ幸いです。

＜ 3－8 中町コミュニティサロンプロジェクト＞

- ・昨年度にキックオフをし、活動を開始、課題として活動の主体となるような地域の方がいないことがみえてきました。活動をふりかえり、課題が整理され、今年の活動目標が明確に立てられていたので、提案に説得力がありました。地域の活動拠点として根付いていくことを願って、継続して応援したいと思いました。
ただし、食材費を助成金にあてた点は賛成できませんでした。ご承知のとおり、助成金は長く続くお金ではありません。今回は助成金をあてるとしても、この先食材費をどう工面していくのか、そもそも食材に毎回費用をかけていくのか、先の見通しを含めて提案してもらえるとよかったですかもしれません。
食材などの消耗品費については参加費、メンバーの会費、寄付など別の

手段も合わせて考える必要があると思います。お金や物品の寄付は、活動に対する賛同や貢献したい気持ちの表れでもあります。寄付という形で活動に参加できる仕掛けと考えると、身近なところに協力をはたらきかけてみてはいかがでしょうか。最近では、フードバンクやフードドライブという取り組みも広がっていますので、そうした情報を探してみるのもいいと思います。

そしてまた、地域の人材を掘り起こすきっかけとなるよう、イベントを企画することですが、自分たちで企画するのもよいですが、他グループと連携した企画もいいと思います。当ファンドには様々なグループが応募していますし、もともと地域で活動するグループもあるでしょう。グループ探しは、世田谷トラストまちづくりや世田谷ボランティア協会に相談することもできます。貴グループが仲介役を担うことで、アイデア満載のイベントの企画が生まれるかもしれませんし、様々なグループと繋がりが出来れば、今後地域の方が主軸になって運営を進める際にも、何かと助けとなってくれるのではないのでしょうか。場所のあることは他グループには大きな魅力です。その利点をぜひいかしてください。地域の人材に出会えるよう、願っています。

- ・ 学生が主体でありながら、コミュニティサロン運営への積極的な取り組みを評価します。地域の方々にも運営に関わってもらうような仕組みづくりにも挑戦してください。
- ・ マンション敷地内という外部からは入りづらい場所で地域コミュニティを育てる実験は学生たちのさまざまな工夫によりある程度成功しつつあるようです。未熟な学生だからこそ周囲も温かい目で見守り協力してくれるのも要因な気がします。産学地域の協働という社会実験の成果を他地域にも応用できるようにしてください。

< 3 - 9 小径のノエル実行委員会 >

- ・ 着実に下北沢のイベントとして定着しつつあるように思います。また他の団体との連携なども取り込まれ仲間を増やされましたね。引き続き、自分たちのネットワークを大切にしながら、無理のない活動運営を期待しています。
- ・ 相変わらずセンスの良い活動で、しかも地道に地域に浸透し広がってい

ること、素晴らしい取り組みだと思います。参加者の負担にならない形の収益構造をうまく作ることができるかがポイントなのではないかと思います。今年のチャレンジに期待しています。

- 下北沢のクリスマスイベントとして定着した取り組みは他活動団体との連携もすすめるなど、素晴らしい。運営体制や活動資金など継続基盤の整備に今後も取り組んでいただきたい。